

日本農業新聞「記事活用エピソード」実施要領

令和5年4月
株式会社日本農業新聞

日本農業新聞の活用を促し、普及拡大につなげるため、下記の通り記事活用エピソードの募集を行います。

記

1. 趣旨

「日本農業新聞」の記事が、営農や生活、勉強に役立ったエピソードや事例を、読者の皆さんから広く募集、共有することで、今後の新聞制作や普及推進に生かします。

2. 応募対象

「日本農業新聞」紙面に掲載された記事（連載含む）

3. 応募締切

令和5年12月5日（火）※必着

4. 応募方法

郵送、メール

5. 応募書類

- (1) 読んだ記事の見出しと、掲載日
- (2) 活用に関するエピソードや事例など（600字以内）
- (3) 応募する部門、応募者の氏名、住所（郵便番号含む）、年齢、性別、職業、電話番号

6. 対象者・審査・表彰

「一般の部」

- (1) 対象者
職業は問いません。
- (2) 審査方法
 - ①社外識者を含む審査委員会を設置し、応募書類に基づき審査します。
 - ②応募多数の場合は、日本農業新聞社内で事前審査を行います。
- (3) 審査基準
 - ①記事がきっかけとなり、その人自身の意識や行動に変化が生じたか
 - ②その変化は自己完結的でなく、他者や組織、地域などへの広がりがあったか

- ③「日本農業新聞を読みたい」と思わせるエピソードか
 - ④自らの体験や見聞に基づくエピソードであり、自身の見解や心情が伝わるか
- (4) 表彰
- ①最優秀賞 1点
 - ②優秀賞 2点
 - ③奨励賞 5点
- ※受賞者には賞状と副賞（最優秀賞 10万円、優秀賞 5万円、奨励賞 5,000円）を贈呈します。

「学生・生徒の部」

- (1) 対象者
令和5年度時点で、高校や大学、専門学校に通う学生と生徒
- (2) 審査方法
- ①社外識者を含む審査委員会を設置し、応募書類に基づき審査します。
 - ②応募多数の場合は、日本農業新聞社内で事前審査を行います。
- (3) 審査基準
- ①記事がきっかけとなり、将来性、発展性のある学びにつながっているか
 - ②「日本農業新聞を読みたい」と思わせるエピソードか
 - ③自由な着眼点と自らの体験に基づくエピソードであり、自身の見解や心情が伝わるか
- (4) 表彰
- ①最優秀賞 1点
 - ②優秀賞 1点
- ※受賞者には賞状と副賞（最優秀賞 3万円、優秀賞 1万円）を贈呈します。

7. 発表

- (1) 入賞した方に直接通知します。
- (2) 新聞紙面や当社公式ウェブサイトなどで発表します。
- (3) 「一般の部」最優秀賞の受賞者は、日本農業新聞が主催するイベントなどで表彰します。

8. 募集方法

- (1) J A都道府県中央会を通じ J A・連合会に募集案内を送付します。
- (2) 新聞紙面を通じさらなる募集につなげます。
- (3) 当社公式ウェブサイトなどを通じた募集も行います。

9. 後援

J A全中、J A全農、J A共済連、農林中央金庫、J A全厚連、家の光協会、農協観光、J A全青協、J A全国女性協

10. その他

- (1) 応募作品の著作権および出版権は主催者に帰属します（作品は返却不可）。
- (2) 応募作品を冊子やパンフレットなどで紹介することがあります。
- (3) 応募書類にご記入いただいた個人情報は、本企画の適切な運営、応募者への連絡、賞品の発送、作品集への掲載などのために使用します。同意の上で送りください。当社の個人情報の取り扱いについては当社公式ウェブサイトをご参照ください。<https://www.agrinenews.co.jp/page/privacy>
- (4) 受賞決定の連絡や、応募者の日本農業新聞購読状況を確認するため、応募者住所の近隣JAへ、応募書類にご記入いただいた個人情報を提供することがあります。

11. 応募・問い合わせ先

日本農業新聞 普及推進部「記事活用エピソード」募集係 宛
〒110-8722 東京都台東区秋葉原2-3
電話：03-6281-5803 FAX：03-6281-5497
メールアドレス：suishin@agrinenews.co.jp